

# 令和3年度 部長政策宣言

## 中間報告

企 画 管 理 部 長

財 務 管 理 部 長

市 民 生 活 部 長

福 祉 保 健 部 長

産 業 経 済 部 長

都 市 整 備 部 長

上 下 水 道 部 長

市 民 病 院 事 務 局 長

会 計 管 理 者

教 育 委 員 会 事 務 局 長

消 防 長

# 令和3年度 企画管理部長「政策宣言」中間報告

企画管理部長 小塚 悟

## ○ 令和3年度重要事業

事業名	第3次射水市総合計画の策定
目標	D Xの推進等、ポストコロナ時代にふさわしい本市の将来像を掲げ、市民の皆さんとともに、これまで以上に満足度の高い新たなまちづくりを推進するため、第3次射水市総合計画の策定に着手します。
進捗状況	より多くの市民の声を計画に反映させるため、市長のタウンミーティングや市内各種団体等とのまちづくりミーティング、更には市民5千人を対象とした意識調査を実施しました。また、総合計画審議会を設置するため、委員の選考や公募委員の募集を行うなど、総合計画策定に向けた体制づくりに努めました。
今後の対応	市民意識調査の結果等を踏まえ、策定方針を示すなど、第1回総合計画審議会の年内開催に向けた準備を加速します。

事業名	社会環境の変化に対応できる人材の育成
目標	社会環境の変化とともに多様化する市民ニーズに対応できるよう、公民連携など幅広い視野を身に付けるための職員研修を実施するほか、新規職員採用においては、様々な行政課題に迅速に対応するための専門枠を設けるなど、即戦力の人材確保に努めます。
進捗状況	職員一人ひとりが、政策課題の解決に資する企画立案能力を身に付けるため、PPP（公民連携）研修をはじめ、人財養成塾などの研修や派遣を行いました。 また、新規職員採用においては、DXを推進するため新たに行政（デジタル枠）を設けて試験を実施しました。
今後の対応	引き続き、有益な各種研修を実施し、学びを業務に生かすとともに、人財養成塾においては、研究内容を幹部職員に直接提案する機会を設けます。

事業名	移住・定住支援事業の推進
目標	宅地取得支援及び若者や新婚世帯への家賃等補助、学生向けのUIターン補助のほか、移住者向けポータルサイトの充実を図るとともに、民間団体と連携し空き家の利活用を促進するなど、引き続き移住・定住対策を推進します。
進捗状況	地方移住への関心が高まっている状況等を踏まえ、移住希望者の登録が国内最大規模であるウェブサイトにて情報を掲載するとともに、移住コーディネーターとして9月から採用した地域おこし協力隊員による実体験を踏まえた移住情報の発信を行いました。 また、民間団体と連携した空き家相談会を毎月開催し、空き家

	の利活用を促進するなど、移住・定住施策の推進に努めました。
今後の対応	移住相談会やインターネットなどで移住情報を発信するとともに、定住の受け皿と空き家の活用促進のため、空き家情報バンクを活用するなど、移住・定住支援の充実に努めます。

# 令和3年度 財務管理部長「政策宣言」中間報告

財務管理部長 一松 教進

## ○ 令和3年度重要事業

事業名	税財源の確保等健全な財政運営
目標	<p>新型コロナウイルス感染症による市税等への影響について、引き続き、その把握に努めるとともに、公平・公正な賦課徴収の実施、多様な納付環境の整備、適正な滞納処分の執行により税財源の確保に努めます。</p> <p>また、普通交付税の一本算定への完全移行など一般財源の確保が困難な状況の中、中長期的な財政見通しを踏まえ、決算上剰余金を活用した基金への積立てや市債の繰上償還を行うなど、健全な財政運営に努めます。</p>
進捗状況	<p>新型コロナウイルス感染症による市税等への影響の把握に努めるとともに、地方税法等の規定に基づき、公平・公正な賦課徴収を実施しました。</p> <p>また、将来における公債費負担の軽減と持続可能な財政運営を確立するため、9月補正予算において、令和2年度決算上剰余金を活用し、約9億7千万円を減債基金へ積み立てました。</p>
今後の対応	<p>引き続き、公平・公正な賦課に努めるとともに、過年度の滞納処分の適正化や、現年度の未納催告の強化等、徴収率の向上に努めます。</p> <p>また、未だ収束が見通せない新型コロナウイルス感染症の影響による厳しい財政運営が想定される中、将来を見据え、健全財政を堅持していく取組を進めます。</p>

事業名	防災・減災対策の推進
目標	<p>洪水ハザードマップや住民一人ひとりがとるべき防災行動を時系列的に整理したマイ・タイムラインを活用するなど、引き続き、防災・減災意識の高揚を図ります。</p> <p>また、防災士や自主防災組織のリーダーの育成・活動支援に努めるとともに、市職員の研修や訓練の実施など、災害時における迅速な対応の確保に努めます。</p>
進捗状況	<p>防災・減災意識の高揚を図るため、市ホームページや市政出前講座などを通じてハザードマップやマイ・タイムラインの普及を図りました。</p> <p>また、防災士や避難所開設業務に従事する市職員に対する研修を実施するなど、災害時における迅速な対応の確保に努めました。</p>
今後の対応	<p>引き続き、市民の防災・減災意識の高揚に努めるとともに、自主防災組織などの人材育成と活動支援を行います。</p>

事業名	DX（デジタルトランスフォーメーション）の推進
目 標	<p>これまでのIoTを活用した実証事業に加えて、新たなデジタル技術を活用し、市民サービスの充実と利便性の向上が図られる施策の展開について調査研究に取り組みます。</p> <p>また、電子申請の拡充やRPA（ソフトウェア型ロボット）を活用した定型業務の自動化を促進するなど庁内デジタル化の推進に努めます。</p>
進捗状況	<p>市長を本部長とする射水市DX推進本部を設置し、スピード感を持ってDXを押し進めるため、まずは指針となる「射水市DXビジョン」を策定しました。</p> <p>また、電子申請の拡充やRPAによる定型業務の自動化を促進するなど、業務効率化と市民の利便性の向上に努めました。</p>
今後の対応	<p>DXビジョンで描く未来の姿の実現を目指し、庁内に6つのワーキンググループを設置したところであり、事業選定や令和4年度以降の実証に向け調査・研究を進めます。</p>

# 令和3年度 市民生活部長「政策宣言」中間報告

市民生活部長 桜川 正俊

## ○ 令和3年度重要事業

事業名	持続可能な公共交通網の構築
目標	「射水市コミュニティバス等再編プラン」に基づき、コミュニティバス等の運行について、効率化と利便性の向上に向けた路線の再編とダイヤ改正を行うなど、持続可能な公共交通網の構築に取り組みます。 また、高齢者等の近距離移動を支える取組を支援する実証事業を行います。
進捗状況	利用者の代表や公共交通事業者などで組織する交通会議で、コミュニティバス等の運行について協議を行い、8月から路線の再編とダイヤ改正を行いました。 また、高齢者等の日常生活における近距離移動の支援については、実証運行の実施地域や内容等について検討を行いました。
今後の対応	引き続き、高齢者等の近距離移動支援の実証事業の実施に向け地域と協議を進めます。

事業名	衛生施設の適正な維持管理
目標	老朽化が進む衛生センター（し尿処理施設）について、延命化と処理規模の適正化を図るため、施設の「長寿命化総合計画」を作成し、計画的な整備と効率的な維持管理に努めます。
進捗状況	大規模な改修が見込まれる処理設備や水槽の状態を把握するため、設備の機能診断を実施し、「長寿命化総合計画」作成に向けた施設の健全度評価を完了しました。
今後の対応	施設規模の適正化を図るため、処理能力の見直し作業を進めるとともに、健全度調査に基づき改修が必要となる設備・機器の抽出を行い、「長寿命化総合計画」を取りまとめます。

事業名	芸術文化の振興
目標	生活に潤いを与える芸術・文化活動を促進し、次代の芸術文化を牽引する人材育成のため、将来の文化振興、文化施設の在り方について有識者等に幅広い意見を求める検討会を開催し、本市の芸術文化の振興と発展に取り組みます。
進捗状況	芸術・文化団体や文化施設利用者にアンケート調査等を行うとともに、8月17日には第1回射水市文化振興・文化施設在り方検討会を開催し、有識者を交えて本市における芸術文化活動の現状や芸術文化振興に関する意見を交換しました。
今後の対応	第2回検討会を開催し、本市文化振興の望ましい方向性について意見をまとめ、報告書を作成します。

# 令和3年度 福祉保健部長「政策宣言」中間報告

福祉保健部長 小見 光子

## ○ 令和3年度重要事業

事業名	新型コロナウイルスワクチン接種事業の推進
目標	市民の皆様が安全かつ迅速にワクチン接種ができるよう、関係機関と連携し体制確保に努め、計画的なワクチン接種を実施します。
進捗状況	高齢者から順次ワクチン接種を開始し、医療機関での個別接種と集団接種を実施しました。また、小中学校教職員や保育士、受験生や妊婦の先行接種を行うとともに、キャンセル待ち登録等により、高齢者の約9割、全人口の約6割が接種を完了しました。
今後の対応	若者への接種を推進するとともに、3回目のワクチン接種に向けて関係機関と連携し、体制確保に努めます。

事業名	子育て支援の推進
目標	市内の保育園等において、園児の登降園の管理や保育計画作成のシステム化を図るなど、保育業務のICT化を積極的に推進し、保育士が働きやすい環境の整備を図るほか、孤立しやすく、産前・産後で育児等の負担が多い多胎妊産婦に対し、多胎育児経験者家族との交流会や専門職等による相談会を実施するなど、支援体制の充実に努めます。
進捗状況	保育業務のICT化については、園児の登降園等を管理する保育業務支援システムを12月から稼働するため、導入に向けた準備を進めました。 多胎妊産婦支援については、多胎ピアサポート事業として、専門職による健康相談、ミニ講座、座談会を通して気軽に相談できる場や仲間づくりを促す交流会を、キッズポートいみずで3回開催しました。
今後の対応	保育業務のICT化については、引き続き準備を進めます。 多胎ピアサポート事業については、今後も月1回程度で実施し、支援体制の充実に努めます。

事業名	健康寿命の延伸と認知症対策の推進
目標	慢性疾患とフレイルが混在する高齢者特有の健康課題に対応するため、高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施に取り組むほか、市内の店舗や事業所を「認知症の人にやさしいお店」として登録する取組を行い、認知症になっても住み慣れた地域で自分らしい生活ができるまちを目指します。
進捗状況	保健事業と介護予防の一体的な実施では、訪問や電話による個別相談を行うとともに、高齢者が集う場所で自らの健康状態を理解し行動することができるよう、フレイル予防の教室を実施しました。

	<p>また、認知症サポーター養成講座を受講されたお店を「認知症の人にやさしいお店」として登録し、お店にステッカーを配布しました。</p>
<p>今後の対応</p>	<p>引き続き保健事業と介護予防の一体的な実施と認知症対策に取り組み、高齢者の健康づくりを支援し、健康寿命の延伸を目指すとともに、認知症の人が地域で自分らしく暮らせる地域づくりを推進します。</p>

<p>事業名</p>	<p>相談支援体制の充実</p>
<p>目標</p>	<p>ひきこもりや8050問題など複雑化・多様化した社会的課題に対応するため、アウトリーチによる支援を強化するほか、相談者の属性や年代に関わらず、相談を受け止める体制の構築に取り組みます。</p>
<p>進捗状況</p>	<p>令和3年9月から、射水市社会福祉協議会にアウトリーチ支援員を新たに配置し、より丁寧な相談支援ができる体制を整備しました。</p>
<p>今後の対応</p>	<p>射水市社会福祉協議会内に設置した射水市ふくし総合相談センター「すてっぷ」において、ひきこもりや生活困窮等福祉に関する多種多様な相談を受け止めるとともに、地域社会からの孤立を防ぐため、各分野における既存の相談支援体制を活用しながら、関係機関と連携、調整を図ります。</p>

# 令和3年度 産業経済部長「政策宣言」中間報告

産業経済部長 宮本 康博

## ○ 令和3年度重要事業

事業名	中小企業等への支援の充実
目標	新型コロナウイルス感染症の長期化の影響により経営に多大な影響を受けている中小企業や小規模事業者に対する支援の充実を図ります。
進捗状況	県の時短要請に協力した事業者や協力店舗の関連事業者に対する支援制度を創設したほか、商工団体が行う消費喚起事業に対する支援を行うなど、事業者支援や地域経済の活性化に取り組みました。
今後の対応	地域経済の状況や国、県の施策の動向も注視しながら、適時適切な支援を行います。

事業名	賑わいの創出と港湾機能の向上
目標	射水市観光交流センター(クロスベイ新湊)を観光の拠点とし、内川を含むベイエリアをはじめ市内全域的な賑わい創出に取り組んでまいります。また、港湾施設の整備を促進し機能向上を図ります。
進捗状況	クロスベイ新湊において、イナガキヤスト写真展や開館1周年記念事業等を開催し、内川の美しい景観や新湊曳山の魅力を発信しました。また、港湾施設の整備促進については、中央ふ頭の改修事業が順調に進捗しています。
今後の対応	引き続き、関係団体と連携し、クロスベイ新湊を中心とした、観光客への情報発信の充実に努めます。また、港湾施設の整備促進について、機会を捉え、国、県に働き掛けます。

事業名	農林水産業の効率化の推進
目標	ICT等を活用したスマート農林水産業による省力化を進めます。また、担い手への集積率が高い本市の強みを生かした「ほ場の大区画化」を推進し、農業の効率化による持続的な発展を図ります。
進捗状況	イノシシ捕獲檻における情報通知装置や海上におけるICTブイの設置等、遠隔地から現地の状況を把握する実証実験を開始しました。また、ほ場の大区画化について、1地区で事業に着手したほか、新たに4地区の事前調査の実施について関係機関に働き掛けを行いました。
今後の対応	ICT等活用については、実証実験により機器の耐久性や費用対効果等を分析し、実用化にむけ有効性の確認に努めます。 ほ場の大区画化については、事業の早期完了、早期実現に向けて、引き続き関係各機関へ働き掛けを行います。

# 令和3年度 都市整備部長「政策宣言」中間報告

都市整備部長 島崎 真治

## ○ 令和3年度重要事業

事業名	道路施設の適正な維持管理
目標	安全で快適な交通環境を確保するため、損傷等の著しい路線の補修工事や、橋梁等の長寿命化及び耐震化工事を計画的に進めます。 また、今年度は、路面標示の引き直しについて、集中的に取り組み、幹線道路や通学路の交通安全対策を進めます。
進捗状況	4路線の舗装補修工事、3橋の橋梁長寿命化修繕工事を実施しました。 また、25路線の路面標示の引き直しを実施し、交通安全対策に取り組みました。
今後の対応	引き続き、1路線の舗装補修工事、4橋の橋梁長寿命化修繕工事、1路線の路面標示工事に取り組み、安全で快適な交通環境の確保に努めます。

事業名	生活環境の充実
目標	交流が盛んで魅力あるまちづくりを推進するため、越中大門駅前線をはじめとする生活環境の整備を進めます。 また、身近な憩いの場である公園施設については、計画的な更新や補修等、安全対策の強化と機能の充実を図ります。
進捗状況	越中大門駅前線及び市道新湊270号線歩道整備工事を施工しています。 また、公園施設については、「射水市都市公園施設長寿命化計画」に基づき、遊具や園路等の更新を実施しました。
今後の対応	上記2路線については、今年度末までに計画している全区間の完成に向けて事業推進に努めます。 また、公園施設については、引き続き適切な維持管理に努めます。

事業名	木造住宅の耐震化と市営住宅の長寿命化
目標	災害に強く安全で快適な住環境づくりを推進するため、引き続き木造住宅の耐震化を促進します。 また、市営住宅については、昨年度策定した「射水市公営住宅等長寿命化計画」に基づき、適正な維持管理及び修繕を進めます。
進捗状況	木造住宅耐震化の促進については、これまでに耐震改修等への補助を1件行うとともに、固定資産納税通知書への補助制度のチラシの同封、市ホームページによる周知や、今年度からLINE公式アカウントを利用して耐震化の啓発を行いました。 また、市営住宅については、庄西市営住宅1号棟及び2号棟において屋上防水工事を施工しています。

<b>今後の対応</b>	引き続き木造住宅耐震化の啓発に努め、市内の未耐震住宅の解消に取り組みます。 また、市営住宅の長寿命化等を推進するとともに、適切な維持管理に努めます。
--------------	---

# 令和3年度 上下水道部長「政策宣言」中間報告

上下水道部長 橋本 稔

## ○ 令和3年度重要事業

事業名	水道施設整備事業
目標	災害時においても安全・安心な水の供給が持続できるよう、新たに鳥越調整池の耐震化工事に着手するなど水道施設の耐震化や更新をはじめ、効果的な管路更新を推進し、水道インフラ全体の強じん化を図ります。
進捗状況	鳥越調整場低区調整池の耐震化工事を9月に着手しました。配水管更新事業についても計画的に整備を進めました。
今後の対応	主要施設の耐震化や効果的な管路更新を推進し、安定供給に取り組めます。

事業名	雨水対策事業
目標	現在着手している片口、枇杷首及び庄川本町地内の雨水対策施設整備の進捗を図り、局地化・集中化・激甚化する豪雨による浸水被害の軽減に努めます。
進捗状況	庄川本町地内は7月末に工事を終え、供用を開始しました。また、片口地内は10月中の函渠工事発注を予定しており、枇杷首地内は関係機関と協議を行い、調査、設計を進めました。
今後の対応	片口、枇杷首地内における雨水対策施設工事の早期発注に努めます。

事業名	広報・広聴の充実
目標	上下水道事業の広報誌を発行し、各事業の財務状況や上下水道ビジョンに掲げた経営目標などをわかりやすく市民の皆様にお伝えします。また、水道事業包括業務委託の目的や効果等についての情報を発信し、広報・広聴の充実に努めます。
進捗状況	上下水道事業の情報を市民の皆様へよりわかりやすく伝えるための紙面作成に取り組みました。
今後の対応	年度内の広報誌発行を目指し、作成に努めます。

# 令和3年度 市民病院事務局長「政策宣言」中間報告

市民病院事務局長 中野 剛

## ○ 令和3年度重要事業

事業名	新型コロナウイルス感染症への対応
目標	<p>新型コロナウイルス感染症に対し、感染症協力医療機関として医療提供体制・療養体制を堅持し、万全な感染対策のもと、入院・外来患者に安全で最適な医療の提供に努めます。</p> <p>また、新型コロナワクチン基本型接種施設として、連携型接種施設や市内接種医療機関と連携してワクチン接種の推進を図ります。</p>
進捗状況	<p>新型コロナウイルス感染症がまん延した期間も、感染対策を万全に行い、患者への安全で最適な医療の提供に努めました。</p> <p>新型コロナワクチン接種は、市ワクチン接種班と連携を図り、日中接種だけでなく、日曜接種や夜間接種を行い市全体の接種推進に努めました。</p>
今後の対応	<p>インフルエンザ流行期に備え、今後も感染対策を万全に行いながら、インフルエンザワクチン接種と3回目のコロナワクチン接種の体制を確立させます。</p>

事業名	地域医療の確保と健全な病院運営の推進
目標	<p>地域医療を担う公的病院として、救急医療、急性期医療体制を堅持し、安心・安全な医療の提供に努めます。また、開業医や他病院との連携をより一層進め、引き続き経営の効率化を図り、健全な病院運営に努めます。</p>
進捗状況	<p>救急医療体制の強化を図り、救急車受入数及び時間外患者の増加に努めました。</p> <p>また、開業医からの紹介患者をスムーズに受け入れるよう体制を確立し、開業医との連携強化に努めました。</p>
今後の対応	<p>開業医や他病院を訪問し、紹介患者の受け入れ態勢について説明を行い、紹介患者増加に繋がります。</p>

事業名	地域包括ケア病棟の効率的な運用
目標	<p>地域医療機関の協力病院として、地域包括ケア病棟において在宅療養患者等の受け入れ、在宅復帰の支援を行うとともに、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けることができるよう福祉・介護機関と連携しながら、地域包括ケアを支える病棟運営及び効率的な運用に努めます。</p>
進捗状況	<p>急性期治療を経過した患者のほか、在宅や施設療養中に状態が悪化した患者を地域包括ケア病棟に受け入れるとともに、福祉、介護機関と連携し、自宅や施設等に復帰できるよう支援に努めました。</p>

今後の対応	地域の医療機関から紹介を受けやすくするための体制づくりに努め、効率的な運用に繋がります。
-------	--

# 令和3年度 会計管理者「政策宣言」中間報告

会計管理者 夏野 吉史

## ○ 令和3年度重要事業

<b>事業名</b>	<b>公金の安全でより効率的な管理・運用</b>
<b>目標</b>	正確な収支見通しの把握に努めるとともに、安全性の確保を最優先とし、より効率的な公金の管理・運用を図ります。
<b>進捗状況</b>	市税、地方交付税等の収入状況、工事請負費等の支払見込及び前年度の収支実績等を参考に正確な収支見通しの把握に努めました。 また、公金の管理・運用については、安全でかつ有利な定期預金等での運用を行い、利子収入の確保に努めました。
<b>今後の対応</b>	引き続き、安全でかつ有利な公金管理と資金運用に努めます。

<b>事業名</b>	<b>公金取扱状況検査の実施</b>
<b>目標</b>	各課・出先機関等への公金取扱状況検査を実施し、適正な会計事務が行われるよう指導するとともに、公金の取扱いに対する職員の意識向上を図ります。
<b>進捗状況</b>	今年度予定の14か所（金融機関2か所を含む。）のうち、4か所で現地調査を実施し、適正な執行の確認と事務の指導を行いました。
<b>今後の対応</b>	残る10か所については、来年2月末までに実施します。

<b>事業名</b>	<b>適正な会計事務の執行</b>
<b>目標</b>	法令等に基づき、厳正かつ迅速な伝票審査を行い、公金の適正で確実な支払事務の執行に努めます。
<b>進捗状況</b>	会計事務担当職員に対し、適切な会計処理と事務の効率化を図るための指導を目的とした研修を実施しました。
<b>今後の対応</b>	引き続き、適正かつ確実な支払事務の執行に努めます。

# 令和3年度 教育委員会事務局長「政策宣言」中間報告

教育委員会事務局長 原 宗之

## ○ 令和3年度重要事業

事業名	ICT教育の充実
目標	新型コロナウイルス感染症等による学校の臨時休業時においても、子どもたちの学びを保障できる環境の確保を引き続き図るとともに、児童生徒の発達段階に応じたプログラミング教育や学習目標をもとに、児童生徒の論理的に考える力の育成や教員のICT教育の指導力向上に努めます。
進捗状況	学校では、発達段階に応じて授業等でタブレットパソコンを活用しており、今夏季休業期間中は、全ての公立小中学校の児童生徒がタブレットパソコンを持ちかえり、家庭学習に取り組みました。また、Wi-Fi環境のない家庭に対して、モバイルルーターの貸し出しを行いました。 教員に対しては、プログラミング教育等の研修や公開授業等を通じて技能・指導力の向上を図りました。
今後の対応	タブレットパソコンの効果的な活用を図り、児童生徒の情報活用能力、論理的思考力の育成に努めます。 また、教員のICT指導力の向上に引き続き努めます。

事業名	心身ともに健やかな子どもの育成
目標	本市では、家族とのふれあいや団らんが子どもの健全な成長に繋がるものとして毎月25日を家族との時間を大切にする「あったか家族の日」としています。市内企業や各種団体と連携し「あったか家族」の普及啓発に努めます。 また、不安を抱えている児童生徒や家庭への支援を推進するため、家庭教育専門支援員を新たに配置し、教育相談体制の充実に努めます。
進捗状況	「あったか家族」応援プロジェクトについては、市内企業や団体等と連携協力し、様々な取組を実施しながら普及啓発活動を展開しており、協力企業も増加しました。 また、新たに家庭教育専門支援員を2名配置し、学校やスクールソーシャルワーカー、関係機関等と連携しながら、不安を抱えている児童生徒の支援を行いました。
今後の対応	「あったか家族」応援プロジェクトは、引き続き市内企業や団体と連携協力しながら家族との団らんを促進する企画を実施することで、協力企業等の拡大につなげます。 また、家庭教育専門支援員を配置し、不安を抱えている児童生徒の家庭支援の充実に努めます。

事業名	文化財の活用とフットボールセンターの整備
目標	<p>放生津八幡宮祭曳山・築山行事が国重要無形民俗文化財に指定されたことから、保存会が行う記念行事への支援を行います。</p> <p>県西部唯一の人工芝グラウンド2面を有するフットボールセンター整備に着手します。併せてA Iカメラの整備等の特色を生かした利用促進についても検討を進めます。</p>
進捗状況	<p>放生津八幡宮祭の曳山・築山行事国指定記念事業については、新型コロナウイルス感染症の影響により、令和3・4年度の2か年計画へ変更となり、今年度は国指定記念碑設置に対し、補助金を交付しました。</p> <p>フットボールセンター整備工事については、令和4年3月の完成に向け、順調に進んでいます。また、A Iカメラやローカル5Gなど、施設の特色をPRする動画を作成し、発信しました。</p>
今後の対応	<p>令和4年度には、国指定記念事業として記念講演会等が計画されていることから、引き続き保存会への支援を行います。</p> <p>フットボールセンターについては、12月市議会定例会に射水市フットボールセンター条例案を提出します。また、施設の運営にあたる事業者やネーミングライツの募集を行うなど、令和4年5月の開業に向けて着実に準備を進めます。</p>

# 令和3年度 消防長「政策宣言」中間報告

消防長 木田 徹

## ○ 令和3年度重要事業

事業名	住宅防火の推進
目標	女性消防団員や女性防火クラブ員による駅や商業施設での防火指導を通じて、住宅用火災警報器の適切な維持管理やコンロ・タバコなどの火災原因に応じた出火防止対策を周知するなど、効果的な啓発活動を推進します。
進捗状況	新型コロナウイルス感染症の感染拡大により多くの活動が制限されましたが、防火クラブ員の研修を実施して知識の向上を図り、今後の活動の推進に努めました。
今後の対応	秋の火災予防運動に合わせて、通勤時間帯の駅や停留所と大型店舗で住宅用火災警報器の維持管理など、火災予防の啓発活動を行います。

事業名	救命率の向上
目標	市民に対する予防救急の推進を図るとともに、応急手当の普及啓発、高度な救命処置が行える救急救命士の養成など救急救命体制強化を図り、救命の連鎖を強固にします。
進捗状況	新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、少人数での応急手当普及講習しかできず、例年と比べると少ない回数しか開催できませんでした。 また、救急救命体制の強化では、心肺停止前に血管から薬剤の投与ができる救急救命士を4名と、気道の中へチューブを挿入して人工呼吸ができる救急救命士を1名養成し、特定行為ができる救急救命士を増員しました。
今後の対応	新型コロナウイルス感染症の感染防止対策を行いながら、応急手当の普及啓発に努めるとともに、救急救命士の特定行為と合わせて救命の連鎖を強固にして、救命率の向上に努めます。

事業名	大規模災害への対応力の強化
目標	日常生活を脅かす火災や事故等の災害はもとより、今後発生が危惧される巨大地震や風水害等の大規模災害に対応し、市民一人ひとりがこれに備え、発生時に的確に対応することができるよう、自主防災訓練等を通じて災害対応力の強化を図ります。
進捗状況	新型コロナウイルス感染症の感染拡大により自主防災訓練が開催されませんでした。消防団員の研修を行い、今後自主防災訓練等が開催されたときには、市民への適切な指導ができるように指導力の強化に努めました。

<b>今後の対応</b>	新型コロナウイルス感染症対策の警戒レベルがステージ 1 に移行したことを踏まえて、今後開催される自主防災訓練等を通じて、巨大地震や風水害等の大規模災害への災害対応力の強化を図ります。
--------------	---